



Takuji Furukawa

古川 卓司

株式会社ビードットメディカル
代表取締役社長

【会社所在地】〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町5-2-13

【事業紹介】放射線総合医学研究所で培った経験を基に粒子線がん治療装置に関する技術コンサルティング業務、さらに超小型ハイスルーブット陽子線がん治療装置の開発を行っている。



【PROFILE】

1978年生まれ
千葉大学大学院 博士(理学)
学生時代より、治療装置の開発に従事。重電メーカーとの協業で商品化した実績もあり、自身の設計した装置が現在も販売されている。放射線医学総合研究所でグループリーダーを担う一方、粒子線がん治療装置のさらなる普及を目指しビードットメディカルを設立し現在に至る。

【創業年】2017年

「より良いものを作りたい」といった持ち前の向上心から、装置の完成度には人一倍こだわりが強い。専門は腫瘍形状に精度良く照射するスキャンニング技術。従来困難とされてきた「呼吸同期スキャンニング照射」の臨床運用に世界で初めて成功し、2012年、文部科学大臣賞を受賞した。失敗を恐れず上流から下流まで何でもやれ、の気骨あるオールラウンダー精神はビードットメディカルメンバー全員にも受け継がれ、チーム一丸となって現プロジェクトに取り組んでいる。

【座右の銘】 Mission, Passion, Commitment

「放射線がん治療＝陽子線治療」の時代を創る

切らずに治せ、QOLに優れる放射線がん治療において「X線治療」が最も一般的ですが、X線より線量の集中度が高く、腫瘍外のダメージが少ない「陽子線治療」が近年注目を集めています。しかし、その装置の大きさと高いコストから「良い治療なのに普及しない」という深刻な問題を抱えています。この問題を解決し、陽子線治療を多くの患者様に届けるべく、小型・低価格の陽子線がん治療装置を開発しています。

会社の特徴

医療現場のわかる技術者集団による 誰でも受けられる高度がん医療の実現

ビードットメディカルは、がん治療の現場(病院)と医療機器開発、両方の経験を持つ異色の技術者たちを中心に構成されています。このメンバー構成が、ユーザー置き去りの技術志向にならない、大手メーカーにはない強みとなっています。「誰でも受けられる高度がん医療の実現」をミッションに掲げ、患者様、病院様、関わる人すべてに喜ばれるような装置、システムを提供できるよう事業に取り組んでいます。

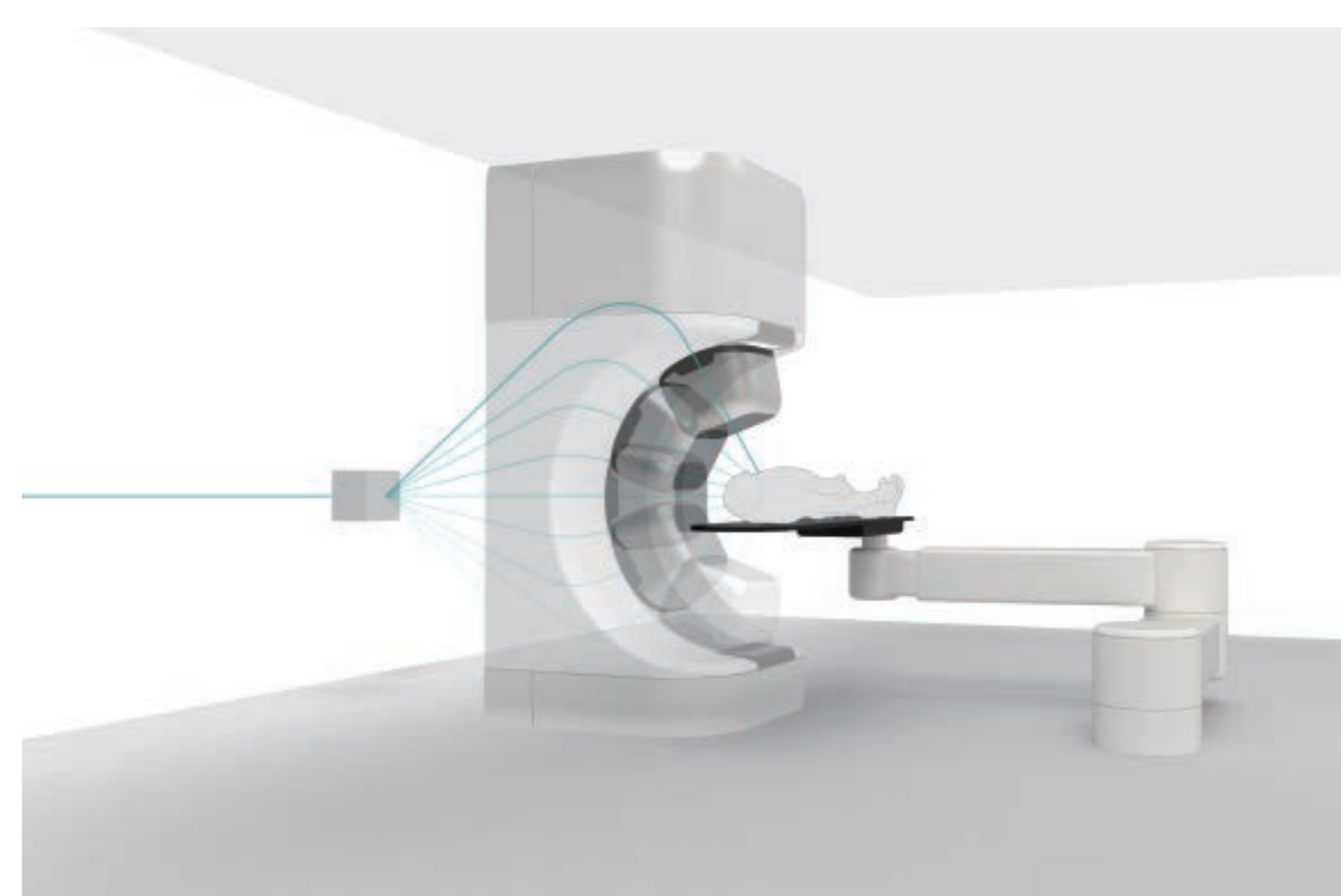
事業・サービスの強み

圧倒的にコンパクト X線治療装置に置き換え可能な陽子線がん治療装置を世界へ

すべてのX線治療患者に陽子線治療を届けるためには、X線装置の置き換えで病院導入できるよう、陽子線装置を飛躍的に小型・低価格化する必要があります。我々は、従来のように大型装置を回転させず、同様の照射が可能な革新的な方式を考案、現在開発中です。さらに、治療時間短縮を可能とするAIを使用したシステム開発にも取り組んでいます。これらにより、病院負担を下げつつ普及を促進し、患者様への治療機会を広げます。



▲チーム内コミュニケーションをつねに重視



▲巨大な回転機構を持たない非回転ガントリー